

(様式 17)

学位論文審査の概要

博士の専攻分野の名称 博士 (医 学) 氏 名 山品 博子

	主査	教授	玉腰	暁子
審査担当者	副査	教授	武藏	学
	副査	教授	大滝	純司
	副査	教授	玉城	英彦

学 位 論 文 題 名

性 (いのちの) 教育に対する教員向けサポートシステム構築に関する調査研究
～HIV/AIDS/STI 予防啓発を目的として～

申請者は、高等専門学校生を対象とした質問紙調査より、学校で設定している学習目標が達成されていないことを明らかにした。また、小中高に勤務経験のある教員を対象として質的研究を実施し、標準化された指導内容、指導方法が確立されておらず、共有の場が必要であることを明らかにした。さらに、地方研究会参加者を対象に実施した質問紙調査では、学ぶ機会、対象者が限定されている現状を示した。

審査において、大滝教授より“いのちの”という追記、調査項目の選定、分析の分担方法、結果および考察が分析方法に影響されていないかについて質問があった。申請者は、教育現場で多くの教員が“いのち”という語を用いている背景、国連機関で幅広く使用されている指標を用いたこと、分析は申請者が行ったのち、もう 1 名がその整合性を確認したと回答した。武藏教授より、小中高いずれの問題点を述べているのか、教科書に対する意見の有無、学校医の役割に関する考察について質問があった。申請者は、小中高に共通する問題点を中心に論じたこと、教科書の問題点はインタビュー内に得られたが同意が得られずカテゴリ化の過程で除外せざるを得なかったこと、これらの貴重なデータの活用については、学校医の役割も含め、今後の検討課題であると述べた。玉城教授より、サンプリング数について質問があった。申請者は、15 名で理論的飽和状態と判断したが、偏りをより軽減するため 3 名追加したと回答した。玉腰教授より今後の研究計画について、論文の現状について質問があった。申請者は、教員向け生涯教育サポート簡易システム構築に向けて、同様の調査を繰返し実施すると回答し、結果が得られ次第、現在投稿中の 2 編に加えてさらに論文投稿すると述べた。

審査員一同は、これらの成果を高く評価し、大学院課程における研鑽や取得単位なども併せ申請者が博士 (医学) の学位を受けるのに十分な資格を有するものと判定した。